福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	未来につなぐ人と森づくり事業						事業コード	020110202301		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち			政策目標	3 自然と共生する地域空間の形成				
	施 策 名	1 豊かな自然環境の保全と活用					施策コード	231		
事業担当	所属	020900 市民生活部夜久野支所			所属長	衣川 綱志				
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	10地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算附属資料	78 頁
計画期間	開始年度	令和5年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	—			R8現在の状況	廃止/休止
根拠法令等	—									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	移住・定住促進事業、循環型森林整備モデル事業、農匠の郷やくの施設管理運営事業、やくの木と漆の館事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 夜久野地域の人口が減少し、高齢化率が50%を超え、今後もこの傾向が続くことが予想されていることから、持続可能な地域づくりを進めていくために当地域に関わりを持つ人を増やす取り組みが必要。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 夜久野地域の豊かな地域資源（森林・丹波漆・宝山など）と歴史を活かし、担い手の育成により、持続可能な循環型の地域づくりを行う。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 地域住民と夜久野地域への移住者や夜久野に関わりを持つ人が一緒になり、夜久野地域の豊かな地域資源と歴史を生かして持続可能な循環型の地域づくりをめざす。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・木育体験の開催 ・夜久野の地域資源を再発見するためにマルシェの開催

対象者	夜久野地域への移住希望者と夜久野地域住民	対象者数	2,787	単位あたりコスト	2.5
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	㈱フォールズ、舞台照明CREW・SOLOOK、京都ユニオンサービス㈱				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	70	出演者・ボランティアスタッフ謝礼			
需用費	129	チラシ印刷、消耗品ほか			
役務費	88	チラシ新聞折込手数料、イベント保険料ほか			
委託料	119	イベント警備委託・音響委託ほか			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	3,698	465	0	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	3,698	465	0	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	1,841	0	0	
	③ 府支出金	0	465	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	1,857	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	△ 60		
	② 配当予算	3,698	405		
	③ 執行額	3,401	405		
	④ 執行率	92.0%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.96 / 0.30	0.67 / 0.40	/	/
	② 概算人件費	8,520	6,480		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		11,921	6,885		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	未来につなぐ人と森づくり事業（新しい地方経済・生活環境創生交付金）	総務費国庫補助金	196	14	
	人と森づくりイベント体験料	雑入	22	46	
	人と森づくりイベント出店負担金	雑入	33	46	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	－	13	5	9		
	夜久野地域への移住者	目標値		－	15	15	15	15	
		達成度	%	―	87%	33%	60%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	－	24	225	107		
	ワークショップ等参加者数	当初見込		－	60	60	60	60	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	夜久野の地域資源を活用した夜久野の魅力発信につながるイベントの開催								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	夜久野地域の住民や移住者にも関わってもらいながら夜久野の地域資源を活用した夜久野の魅力を発信するイベントを実施でき、イベント開催が直接影響したわけではないが一定数移住者が当地域に来ていただいた。 また、ファームガーデンやくのでマルシェを開催することで、一時的ではあるが夜久野高原や道の駅「農匠の郷やくの」のPRもでき、夜久野高原を中心とする賑わいづくりへの継続を図れた。
現状の課題に対する改善策	住民参画による実施が進んだことから、本事業は令和7年度で終了するが、引き続き、移住定住促進事業や農林業関連事業等の関係事業や地域づくり組織とも連携しながら、夜久野の地域資源を守り、活かしていく人づくり・まちづくりに向け、地域資源の発信を実施することで関係人口の増加、更に夜久野地域への移住者の増加に繋げていく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	動物愛護推進事業						事業コード	040103520131		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち			政策目標	3 自然と共生する地域空間の形成				
	施 策 名	1 豊かな自然環境の保全と活用					施策コード	231		
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課			所属長	間島 哲哉				
会計情報	款	04衛生費	項	01保健衛生費	目	03環境衛生費	会計	01 一般会計	決算附属資料	135 頁
計画期間	開始年度	昭和25年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	狂犬病予防法動物愛護法									
事業区分	☑ 法定受託事務	☑ 国府補助事業	☐ 市単独事業	☐ 内部庶務的事業	☐ その他 （ ）					
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 〇動物に対する多様な価値観が存在する中、動物愛護管理に関する適切な考え方を啓発する必要がある。 〇狂犬病予防法に基づき、犬の登録管理、狂犬病予防注射が義務付けられている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 〇犬猫の飼養管理をめぐる住民間のトラブルや飼い主のいない猫へのえさやり行為をめぐるトラブルが発生している。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 〇人と動物の調和のとれた共生社会の実現及び市民の快適な生活環境の保持を目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 〇犬の登録管理・狂犬病の予防注射の実施 〇動物の適正飼養に係る指導・相談等の対応 〇飼い主のいない猫の不妊・去勢手術補助金交付を実施

対象者	市内で飼育されている犬	対象者数	3,600	単位あたりコスト	1.8	
実施方法	☑ 直接実施	☑ 業務委託	☐ 指定管理	☑ 補助金交付	☐ その他 （ ）	
委託先・実施主体等	公益社団法人京都府獣医師会へ一部委託					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
旅費	7	京都府狂犬病予防注射担当課長会議			
需用費	293	消耗品購入費（犬鑑札、注射済票等）			
役務費	344	郵送料			
委託料	671	狂犬病予防注射済票受渡し事務委託			
負担金補助及び交付金	173	飼い主のいない猫の不妊・去勢手術補助金			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	1,265	1,577	1,678	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		1,265	1,577	1,678	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	171	144	141	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	1,094	1,433	1,537	
決算情報	① 流充用額	0	△ 51		
	② 配当予算	1,265	1,526		
	③ 執行額	1,188	1,488		
	④ 執行率	93.9%	97.5%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.20 / 0.75	0.34 / 0.80	/	/
	② 概算人件費	3,700	4,960		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		4,888	6,448		

主な利用特財（R7年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
狂犬病予防接種注射手数料	衛生手数料	708	12	
狂犬病予防接種犬新規登録手数料	衛生手数料	630	12	
動物管理指導費	衛生費府補助金	149	23	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	85.7	84.3	85.6	85		
	狂犬病予防注射率	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	86%	84%	86%	85%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	頭	3,040	2,951	2,971	2,981		
	狂犬病予防接種頭数	当初見込		3,545	3,499	3,472	3,500	3,500	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	狂犬病予防接種に係る飼養者への周知・啓発 愛玩動物の適正飼養に係る指導・啓発								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績				25	10		
	飼い主のいない猫の増加を抑制することで糞尿被害及び繁殖を抑制する。	目標値				20	20	20	
		達成度	%			125%	50%	0%	
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績					41		
	飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費用に対する助成	当初見込					40	50	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	飼い主のいない猫の不妊・去勢手術補助金交付の実施								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	○狂犬病予防注射の接種率は、目標値に至っていない。 ○犬・猫の糞尿トラブルは後を絶たない状況である。
現状の課題に対する改善策	○本市の接種率は京都府内で比較すると高い水準であるが、犬を飼うには登録や注射が必要であることを、周知していく必要がある。 ○飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費等補助金交付の実施により、飼い主のいない猫の増加を抑制することで糞尿被害及び繁殖を抑制し、適正な管理と飼養について更なる啓発を行う。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	環境保全一般事業（生活環境課）							事業コード	040105520121		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち				政策目標	3 自然と共生する地域空間の形成				
	施 策 名	1 豊かな自然環境の保全と活用						施策コード	231		
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課				所属長	間島 哲哉				
会計情報	款	04衛生費	項	01保健衛生費	目	05環境保全費	会計	01 一般会計	決算附属資料	141	頁
計画期間	開始年度	平成16年度	終了予定年度	令和14年度	関連計画名	エネルギー・環境基本計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	環境保全法、公害紛争処理法、騒音規制法、悪臭防止法、水質汚濁防止法										
事業区分	☑ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 〇公害問題が深刻化するなか、市民の環境問題への関心は高まっており、公害のない良好な生活環境を確保する必要がある。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 〇事業者等との連携により、公害防止対策の推進を図る必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 〇大気汚染や水質汚濁などの対策を、総合的・計画的に実施するため、必要な監視と指導を行うことを目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 〇大気汚染、水質汚濁、悪臭公害に係る環境測定の実施 〇大気汚染、水質汚濁、悪臭公害に係る施設の届け出に係る指導 〇公害苦情に係る現地調査及び発生源への指導

対象者	全市民	対象者数	75,453	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	一般社団法人京都微生物研究所、株式会社環境テクノス、環境計測株式会社、株式会社HER				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
旅費	7	公害苦情担当者会議			
役務費	15	騒音・振動レベル計用レベルレコーダ検査料			
委託料	2,283	自動車騒音常時監視面的評価業務、長田野工業団地大気環境調査ほか			
備品購入費	805	面的評価システム用地図データ、普通騒音計			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	1,487	2,453	2,359	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		1,487	2,453	2,359	
予算財源内訳	① 一般財源	821	1,640	1,205	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	666	813	1,154	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	657		
	② 配当予算	1,487	3,110		
	③ 執行額	1,482	3,110		
	④ 執行率	99.7%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.83 / 0.00	0.77 / 0.30	/	/
	② 概算人件費	6,640	7,000		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		8,122	10,110		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	環境保全一般事業（きょうと地域連携交付金）	衛生費府補助金	818	24	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	45	41	23	23		
	公害苦情件数	目標値		0	0	0	0	0	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	45	41	23	23		
	公害苦情に係る現地調査及び指導回数	当初見込		0	0	0	0	0	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	公害苦情に係る現地調査及び原因者への指導								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	○公害苦情や特定施設の情報を管理し、迅速な調査と原因者への指導を行うことができた。
現状の課題に対する改善策	○環境関連計画等により保全すべき環境基準を周知し、市民、事業者の理解と協力を求める必要がある。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	森林経営管理事業						事業コード	060202210101		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち			政策目標	3 自然と共生する地域空間の形成				
	施 策 名	1 豊かな自然環境の保全と活用					施策コード	231		
事業担当	所属	250100 産業部農林整備課			所属長	芦田 裕人				
会計情報	款	06農林業費	項	02林業費	目	02林業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	157 頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市森林経営管理意向調査実施計画			R8現在の状況	他事業を統合
根拠法令等	森林経営管理法									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・森林の有する多面的機能を高度に発揮させるには、森林の適正な経営管理が不可欠である。 ・このことから、平成31年4月に『森林経営管理法』が施行され、森林所有者は森林の経営管理を行わなければならないこと、市町村は円滑な経営管理が行われるよう措置を講ずることが明文化された。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・かつて自ら木を植え、育ててきた森林所有者も、高齢化や代替わり等で山離れが進み、”どう管理していいか分からない””森林がどこにあるか、境界も知らない”という森林所有者が増えている。また、相続登記が適切に行われずに所有者不明となる森林も増加している。 ・林業事業体が森林整備に意欲的であっても、これらの森林境界の不明確化、所有者不明森林がボトルネックとなり、森林整備が進まない。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・森林の所有者と境界を明らかにする森林境界明確化を市内全域で進める。 ・森林経営に関する森林所有者への意向調査を行い、森林の基礎情報（樹種、樹高等）を収集し、所有者の意向を含めた一筆ごとの森林情報の保全を行う。 ・集積した森林情報を活用し、森林経営の円滑化を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・森林境界明確化に必要な範囲で、航空レーザ測量及び森林資源解析を実施し、高精度な森林の基礎情報を収集する。・『福知山市森林経営管理意向調査実施計画』に定める優先順位に基づき、森林の所有者と境界を明らかにする森林境界明確化を実施する。（R7）・森林境界明確化が完了した地区において、森林経営に関する森林所有者への意向調査を行い、自身では森林経営ができない・誰かに管理を任せたいという意向の所有者及び所有森林の位置を把握する。・上記森林のうち、林業経営に適した森林は『福知山市循環型森林ビジョン』及び循環型森林整備推進協定に基づき、林業事業体への斡旋等により森林整備を進め、林業経営に適さない森林であって、防災等の観点から森林整備を実施すべき箇所については市が主体となって森林整備を実施する。循環型森林整備事業を統合し、『循環型森林ビジョン推進事業』に名称変更。

対象者	市内森林所有者（森林簿情報、共有者数含まない）	対象者数	14,650	単位あたりコスト 8.1
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）			
委託先・実施主体等	アジア航測株式会社			

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	37	消耗品			
役務費	124	郵送料			
委託料	105,904	森林境界明確化業務、森林情報活用システム保守管理			
使用料及び賃借料	173	複写機使用料			
積立金	3,979	基金積立			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	95,090	111,429	93,405	0
	② 補正予算	0	△ 1,484	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		95,090	109,945	93,405	
予算財源内訳	① 一般財源	95,090	109,945	93,405	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	292		
	② 配当予算	95,090	110,237		
	③ 執行額	85,824	110,216		
	④ 執行率	90.3%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.70 / 0.20	0.70 / 0.85	/	/
	② 概算人件費	6,160	7,980		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		91,984	118,196		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	ha	2,880	2,715	2,628	集計中		
	森林経営計画認定面積	目標値		4,150	4,150	4,150	4,150	4,150	
		達成度	%	69%	65%	63%	―	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	地区	1	2	1	1		
	森林境界明確化実施地区(単年度)	当初見込		1	2	1	1	1	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・業務委託により、対象地区の森林において森林境界明確化業務を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・リモートセンシングデータを活用し、広大な面積において、効率的に森林境界明確化を実施しており、森林所有者への説明方法等も毎年ブラッシュアップを重ね、着実に森林情報の集積が進んでいる。 ・森林経営管理法に定める経営管理権集積計画や経営管理実施権配分計画等の一般的な事務手順では、森林整備の着手までにかなりの時間を要するため、循環型森林整備推進協定による新たな連携体制を構築し、森林整備着までの迅速化を図った。 ・協定に基づく第一地区目の森林整備着手に向け、市寺地区の区有林を対象に、森林所有者、協定締結者、市により協議を重ね、一定のノウハウが蓄積できた。 ・市内全域に波及していくためには、個人所有林の集約化のノウハウ獲得や全体行程の更なる迅速化を図っていく必要がある。
現状の課題に対する改善策	・森林整備対象箇所の選定において、高精度の森林情報を更に活用し、効率化を図っていく。 ・森林整備の前提となる森林所有者の同意取得に向け、所有者意向を丁寧にヒアリングし、課題の把握と対策のPDCAを回していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	福知山千年の森づくり事業							事業コード	060202220401		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち				政策目標	3 自然と共生する地域空間の形成				
	施 策 名	1 豊かな自然環境の保全と活用						施策コード	231		
事業担当	所属	250100 産業部農林整備課				所属長	芦田 裕人				
会計情報	款	06農林業費	項	02林業費	目	02林業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	159	頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山千年の森づくり基本計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・平成18年に丹後天橋立大江山国定公園に三岳山から大江山連峰にかけた区域が国定公園と指定されたことにより、国定公園を市民共有の財産として守り育てるために平成21年3月に「福知山千年の森づくり基本計画」を策定。 ・令和4年3月に時代のニーズに合わせて改定。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・大江山などの国定公園の魅力が市民や観光客に十分に伝わっていない。 ・訪れた方が、実際に森林保全活動に参加する仕組みが不足している。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 大江山の自然と歴史の魅力を発信し、多くの方に「訪れたい」「守りたい」と思っていただける国定公園をめざす。また、訪問から参加へ、参加から保全へと段階的に関わっていただくことで、市民と一緒に千年先まで続く豊かな森を育てていく。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・木育教室とトレイルラン教室が一体となった、子ども向け大江山トレイルラン教室の実施（R7） ・酒呑童子祭りと連携した木育教室の実施（R7） ・地元及び関係団体と共同で行う国定公園内の清掃活動の実施（R7） ・地域及び関係団体との官民連携となった情報共有や情報発信の会議の運営（R7）

対象者	国定公園来訪者数	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	一般社団法人日本ランニングファシリテーター協会					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	103	トレイルラン教室における木育教室講師料			
需用費	6	木育教室に係る消耗品			
委託料	2,500	トレイルラン教室に係る委託料			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		4,589	2,713	2,340	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）		4,589	2,713	2,340	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		4,589	2,713	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		0	0	2,340	
決算情報	① 流充用額		△ 686	0		
	② 配当予算		3,903	2,713		
	③ 執行額		3,903	2,610		
	④ 執行率		100.0%	96.2%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.40 / 0.00	0.33 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		3,200	2,640		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			7,103	5,250		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	福知山千年の森づくり事業(豊かな森を育てる府民税市町村交付金)	農林業費府補助金	2,609	25	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	79,000	89,000	97,000	101,000		
	国定公園への来訪者数	目標値		257,000	257,000	257,000	257,000	257,000	
		達成度	%	31%	35%	38%	39%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	39	104	216	200		
	千年の森づくり活動参加者数	当初見込		40	120	260	260	260	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	国定公園の発展にむけて、市内外に国定公園におけるイベント開催等の情報発信することで誘客を行い、森林整備につなげていく。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・4年目のトレイルラン教室は、SNSを活用した募集を行うことによって遠方からの参加もあり、より広範囲に国定公園のファンとなっていただくきっかけづくりとなった。また、宿泊も含んだプランも設定し、地域の施設活用した取り組みとなった。 ・新たに子ども向け木育教室の実施や清掃活動の実施を行い、森林保全や誘客につながる活動を行った。 ・今後、様々なアプローチにより、より多くの方が森林に興味を持ち、持続的に森づくりに関わってもらえる仕掛け作りが重要になってくる。
現状の課題に対する改善策	・地域の団体などと連携して、訪問者が気軽に森林保全活動に参加できる仕組み作りをめざす。 ・「若芽サポーター」制度を活用し、若い世代が継続的に森づくりに関わる環境を作りをめざす。 ・SNSなどを活用した効果的な情報発信により、より多くの方に大江山の魅力を知ってもらう。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	クビアカツヤカミキリ防除事業					事業コード	040105202501			
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち			政策目標	3 自然と共生する地域空間の形成				
	施 策 名	1 豊かな自然環境の保全と活用				施策コード	231			
事業担当	所属	250800 産業部エネルギー・環境戦略課			所属長	山田 信義				
会計情報	款	04衛生費	項	01保健衛生費	目	05環境保全費	会計	01 一般会計	決算附属資料	141 頁
計画期間	開始年度	令和6年度	終了予定年度	令和9年度	関連計画名	—	R8現在の状況	継続中		
根拠法令等	特定外来生物による生態系等に係る被害等の防止に関する法律									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」について、R06年8月に本市内での成虫の生息と、樹木の食害を確認した。R06年度は43本、R07年度は30本の被害樹木が確認された。 所有者・管理者の同意を得た対象等については伐倒処分を実施をしたが、今後さらなる被害の拡大が予想されるため、市域全域への広報に加え、当該エリアへの各戸配布を行い周知を図っている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 市管理地、民有地それぞれにおける観察と積極的な防除が所有者、管理者により迅速に実施される必要がある。 バラ科の樹木に産卵、侵入し、被害が確認されると薬剤散布やネット巻き、また伐倒処分等に大きな作業負担、費用負担が発生する。ネット巻対策を行った樹木は2日に1回程度の巡回で幼虫や成虫を発見し捕殺することが推奨されているが、その人的体制をいかに構築するかも課題。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） サクラ、ウメ、モモ等のバラ科樹木の生態系を保全するため、特定外来生物クビアカツヤカミキリの早期発見、早期防除を推進する。 被害木への防除対策が、所有者、管理者により積極・迅速に展開されることをめざす。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること クビアカツヤカミキリの食害が確認された市内に所在する被害木に対して、立木防除（ネット巻き、薬剤の散布・注入、巡回監視等）や伐倒防除（伐採、根覆い、燻蒸または運搬破砕等）を実施する。 京都府クビアカツヤカミキリ防除等推進指針（R06.9月策定）に基づき、被害木の防除は所有者、管理者ごとに行う。 R06及びR07については市による直接執行を中心に対応したが、市施設等は市で防除、それ以外は管理者・所有者で防除し、その費用の一部を支援する補助制度を創設することとした。この2本立てで早期防除を進め、連鎖被害の拡大を抑制する。

対象者	クビアカツヤカミキリの被害が確認された（る）樹木	対象者数	46	単位あたりコスト	304.8	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	伊東木材株式会社、北山建設株式会社、財団法人ひょうご環境創造協会等					

主な支出に係る業務内容と経費	費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
	報償費	90	現地巡回謝礼			
	需用費	379	緊急防除に伴うネット等の購入費用			
	役務費	518	フラス分析業務・被害木処理に係る費用			
	委託料	1,032	木伐採業務等			
	使用料及び賃借料	2	施設使用料			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	0	6,371	5,915	0
	② 補正予算	2,299	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		2,299	6,371	5,915	
予算財源内訳	① 一般財源	2,299	3,186	2,958	
	② 国支出金	0	3,185	2,957	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	70	△ 669		
	② 配当予算	2,369	5,702		
	③ 執行額	2,369	2,021		
	④ 執行率	100.0%	35.4%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.50 / 0.00	1.50 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	4,000	12,000		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		6,369	14,021		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	特定外来生物防除等対策事業交付金	衛生費国庫補助金	844	17	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	倍（以下）	―	―	―	1.07		
	被害木の本数の対前年度増加率	目標値		―	―	―	2.03	1.8	
		達成度	%	―	―	―	―	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	―	―	100	100		
	被害木における防除措置率 （伐採・薬剤注入等。民間所有者・管理者自身による措置数を含む）	当初見込		―	―	―	100	100	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	活動が再開する5月頃に市全域へ組回覧による注意喚起を実施し、通報窓口の周知と協力の要請。 6月頃から被害木の定期巡回、成虫の捕殺を実施。新たに被害木が発見された際は、所有者と協力し、夏季はネット巻や薬剤処理など立木防除を実施。活動がストップする冬季に樹木の伐採を実施。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	被害エリアの公共施設は所管課に依頼し、全施設で被害調査を実施できている。また福知山城、三段池公園などサクラの樹木が立木しているところも調査している。一方で民地については、所有者・管理者による通報がなければ、被害木の発見が困難であり、民地での被害確認が大きな課題となっている。対策として、市全域への組回覧に加えて、被害エリア（三和町）やその周辺エリア（下六人部）へ各戸配布による樹木の監視、通報のお願いを実施した。また地域のつながりで被害木を発見している事例として、芦渕エリアがある。令和7年度に初めて被害が確認されたエリアであり、当初確認された被害木は1本のみであったが、その後被害木所有者の声かけや周辺の見回りにより、5本の被害木が発見され、すべて防除済となっている。このような事例を増やしていくために、さらなる情報共有や地域への呼びかけが必要となる。
現状の課題に対する改善策	引き続き市域全域への広報に加え、当該エリアへの各戸配布を実施する。 芦渕の好事例を参考に、地域で声かけをしていただける状態を作るために、被害木の所有者・管理者を中心に、周囲の方への情報展開や声かけの依頼をする。 さらに通報により、現地に行けば周囲の樹木の確認もできるので、疑わしい場合は迷わず通報をいただくことを周知する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	都市計画基礎調査事業							事業コード	080401510225		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち				政策目標	3 自然と共生する地域空間の形成				
	施 策 名	1 豊かな自然環境の保全と活用						施策コード	231		
事業担当	所属	350500 建設交通部都市・交通課				所属長	川島 奈都代				
会計情報	款	08土木費	項	04都市計画費	目	01都市計画総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	175	頁
計画期間	開始年度	令和6年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	福知山市都市計画マスタープラン			R8現在の状況	廃止/休止	
根拠法令等	都市計画法第6条										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	―										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・本市は、本市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、都市計画法に基づく都市計画を定めて都市づくりを推進している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・人口減少等の社会経済環境の変化に伴い、必要に応じて都市計画を変更するなど対応が必要である。 ・また、都市計画の目的の実現には時間を要するため、都市計画マスタープランを策定（改定）し、都市の将来像を市民と共有する必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・都市計画法第6条の規定に基づく都市計画基礎調査の実施により、都市計画の見直しに必要なデータを収集し整理する。 ・都市計画基礎調査により収集・整理したデータを分析し、本市の都市計画上の課題を明確にする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・都市計画基礎調査の実施（令和6年度） ・都市計画基礎調査により収集・整理したデータ分析の実施 ・都市計画上の課題把握、明確化

対象者	市民	対象者数	73,447	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	国際航業株式会社 京都支店					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
委託料	6,293	都市計画基礎調査データの分析			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		12,644	6,000	0	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			12,644	6,000	0	
予算財源内訳	① 一般財源		3,344	6,000	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		9,300	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		0	0	0	
決算情報	① 流充用額		0	293		
	② 配当予算		12,644	6,293		
	③ 執行額		10,546	6,293		
	④ 執行率		83.4%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.22 / 0.00	0.20 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		1,760	1,600		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			12,306	7,893		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	業務	―	―	1	1		
	・都市の現状把握 ・都市計画上の課題の明確化	目標値		―	―	1	1	―	
		達成度	%	―	―	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	業務	―	―	1	1		
	・都市計画基礎調査の実施 ・データ分析の実施	当初見込		―	―	1	1	―	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・調査項目の選定や必要な資料収集を行うとともに、業務を発注し早期に成果をとりまとめる。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	調査項目の選定に時間を要したが、期限内に成果をとりまとめることができた。
現状の課題に対する改善策	今後、京都府が行う都市計画定期見直しの動向をみながら、必要に応じて都市計画変更を行うとともに、本事業において明らかになった都市計画上の課題の解決をめざし、本市の都市計画に関する基本方針となる都市計画マスタープランの改定を進める。